

令和 6 年度シラバス (芸術)

教科(科目)	芸術(音楽Ⅰ)	単位数	2単位	学 年	1年次
使用教科書	教育芸術社『MOUSA 1』				
副教材等	教育芸術社『音楽の鑑賞資料と基礎学習』				

1 グラデュエーション及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①本校の特色及び取組を生かした高大接続、教育課程の編成、授業改善により基礎学力の向上を図るとともに、さらなるキャリア教育の実践を推進します。</p> <p>②規律ある学校生活の中で基本的な生活習慣を確立し、時代の変化に対応できる能力の向上を図ります。</p> <p>③生徒一人一人の良さや可能性を伸ばし、自立した社会生活を営むことができる力を育てるとともに、生徒の自己実現を図ります。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>総合学科の本校では多様な科目開設という特徴を生かした教育活動を展開し、「産業社会と人間」を基本として3年間を見通したキャリア教育を充実させます。また、地域と連携した実習や就労体験等、地域の教育資源を活用して教養、人間性及び社会性を育てます。</p> <p>①多様な進路希望に対応する選択科目を設け、資質、能力の育成に相乗的であるように教科等横断的な視点に立った指導であること。</p> <p>②学習の継続性に配慮し、主体的・対話的で深い学びが実践できるような基礎基本を重視した教育課程を編成する。</p> <p>③ICTの活用も含め、生徒個々が自身の進路希望を意識した学習態度の早期醸成と高揚につなげられるものであること。</p> <p>④学校設定科目「キャリア実習」をはじめ、科目の設定にあたり地域産業、地域の人材を生かした授業展開ができること。</p>

2 学習目標

<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3)主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>

3 指導の重点

<p>音楽の幅広い活動をとおしてコミュニケーション能力を育成するため、</p> <p>①読譜に必要な基礎的な音楽知識の習得を目指します。</p> <p>②そして、歌唱や器楽の基本的な演奏技術を身に付けます。</p> <p>③更にそれらをとおし、他者と話し合い、協力して音楽を作り上げる姿勢を育てます。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

5 評価方法

各観点における評価方法は次のとおりです。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点をふまえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・実技や筆記テストの分析 ・観察、練習状況 ・ワークシートや提出物の内容の確認 などから、評価します。	以上の観点をふまえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・実技や筆記テストの分析 ・観察、練習状況 ・ワークシートや提出物の内容の確認と分析 などから、評価します。	以上の観点をふまえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組や発表、各種テストの観察 ・ワークシートや提出物の内容の確認と分析 などから、評価します。
内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとめりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

学期	月	時数	単元・題材	学習活動（指導内容）	評価方法
1 学 期	4	1	オリエンテーション・ガイダンス	・1年間の学習内容を知り、授業への取り組みを確認する。	アンケート
		6	斉唱	・正しい姿勢・発声法を理解する。 ・豊かな声量で歌う。	授業への取組 実技テスト
	5	4	アルトリコーダーの奏法の理解と実習 独奏・二重奏	・アルトリコーダーの奏法を学び、簡単なメロディーの演奏に取り組む。	授業への取組 自己評価 実技テスト
		5		・二重奏などによる、アンサンブルに親しむ。	
	6	3	鑑賞	・楽曲の鑑賞を通じて、管弦楽についての基礎的な知識を習得するとともに、楽器の特性や表現上の効果を味わう。 ・交響曲やオペラの鑑賞	プリント学習 確認テスト

学番51 新潟県立小千谷西高等学校

2 学 期	7	6	アルトリコーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーの奏法を復習する。 ・技術の向上を図り、表現を工夫するとともに美しい音色に親しむ。 	授業への取組 実技テスト 自己評価
	8.9	7	西高祭に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭での、音楽選択者全員によるステージ発表に向けた練習に取り組む。 ・合唱の響きを味わう。 	授業への取組 自己評価 相互評価
	10	10			
	11	6	ギターの奏法の理解と実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ギターの奏法を学び、簡単なメロディーの演奏に取り組む。 ・楽曲に合った様々な奏法に取り組む。 	授業への取組 実技テスト 自己評価
	12	5	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーおよびギターアンサンブル ・三線の奏法 ・西洋音楽史 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの音色の美しさを味わいながら、アンサンブルに親しむ。 ・沖縄音楽に触れる。 ・大まかな西洋音楽史の流れを知る。 ・時代や文化的要因による音楽の違いを知る。 	授業への取組 実技テスト 自己評価 相互評価 ノート提出 筆記テスト
	1	5			
	2	2			
	3	2	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカルの鑑賞 ・音楽の効果について考察を深める。 ・4小節の簡単な旋律を創作する。 	感想文 レポート提出 提出
		2	創作		

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・各単元で実技テスト（発表会形式も含む）や筆記テストがあります。
- ・各種レポート、ワークシート、音楽ノート等への記入及び提出があります。

8 担当者からの一言

- ・本校では芸術文化系列を設置し、音楽系の科目を多数開講しています。2年次の音楽Ⅰの内容は3年次の音楽科科目のガイダンスを含んでいますので、自己のライフプランを見据えた科目選択を行ってください。
- ・学習内容にかかわらず、年間をとおして授業への取り組みを重視しています。
- ・音楽の授業は豊かな表現力の向上を目指すと同時に、未知を知ることの姿勢を学ぶ場でもあります。常に真摯な姿勢で学習に取り組んでください。